

病理専門研修プログラム作成の手引き

1. 病理専門研修プログラムの構成

病理専門研修プログラムは「I ○○大学病理専門医研修プログラムの内容と特色」と「II 病理専門医制度共通事項」の2部構成となっています。各施設では各々の状況・実情に合わせて「I ○○大学病理専門医研修プログラムの内容と特色」を作成していただきます。「II 病理専門医制度共通事項」についてはどの施設も共通した内容と考えられるので基本的に同じ内容を記載していただきます。

2. 「I ○○大学病理専門医研修プログラムの内容と特色」の内容

病理専門研修プログラムは病理専門研修プログラム整備基準に準拠して作成する必要があり、整備基準の項目をすべて盛り込む必要があります。よりわかり易くするため、更に具体的な内容やプログラム・カリキュラムの詳細を記載することは可能です。

3. 病理専門研修プログラム作成方法

① 記載項目の把握

エクセルファイル「下書き用 病理専門研修プログラム整備基準」の中の“病理専門研修プログラム整備基準 各施設記載用”欄をご覧ください。

整備基準が54項目設定されています。項目記載内容の左側の色が、赤は各施設で記載する内容、緑は「II 病理専門医制度共通事項」にも記載されていますが、各施設で独自の内容があれば「I ○○大学病理専門医研修プログラムの内容と特色」に記載することが推奨される項目です。青は共通項目のため変更する必要がないと考えられる部分ですが、ご確認下さい。

② 項目内容の記載

項目内容の右側のセルに各施設で記載するスペースがあります。赤枠(項目色：赤)は記載が必須です。黒枠(項目色：緑)は記載が推奨されます。各施設の実状に合わせて記載して下さい。

③ 連携施設一覧表を作成

各基幹施設が連携施設として病理専門研修プログラムを作る施設群の情報をモデルプログラムの例に従って記載して下さい。

④ 研修プログラム(スケジュール)の作成

各施設で行われる研修内容の具体的なスケジュールを、モデルプログラムに倣い、いくつかのパターンに類型化して記載して下さい。モデルプログラムに無いような独自のプログラム(スケジュール)を構成していただくことももちろん可能ですが、そのスケジュールが病理専門研修プログラムに相応しいと認定されるかどうかは、日本専門医機構の審査を経てから決定されます。

⑤ 「病理専門研修プログラム」の作成

下書き(①記載項目の把握、②項目内容の記載)、連携施設一覧表(③)、研修プログラム(スケジュール)(④)を参考に、各項目の内容で関連しているものをまとめながら、理解しやすいように「病理専門研修プログラム」として記載していきます。モデルプログラム

には段落ごとに対応する整備基準の項目番号が記載してあります。参考にして下さい。

⑥ 不足内容の追加

整備基準の内容だけでは、実際の日々の過ごし方などが十分伝えられないと思います。必要に応じて表や図などを使用して、研修を受けようとしている医師が理解しやすいようにして下さい。

4. 「病理専門研修プログラム」が出来上がったら、最後に病理専門研修プログラムチェックシートによって、記載内容の漏れがないかどうかを確認、チェックして下さい。すべての項目がチェックされたチェックシートのついた「病理専門研修プログラム」を審査することになります。

5. 「病理専門研修プログラム」を作成する際の参考になるように都市型（東京医科歯科大学）と地方型（三重大学）のモデルプログラムを公開します。都市型は、首都圏、京阪神、名古屋、福岡、札幌、仙台などの施設を想定していますが、各基幹施設におかれては2つのモデルプログラムを参考にして、各地域の事情に合った「病理専門研修プログラム」を作成して下さい。

6. 「病理専門研修プログラム」作成にあたって疑問点等がございましたら、下記までメールにてお問い合わせ下さい。なお、返答までにお時間がかかることもございます。ご了承ください。

一般社団法人 日本病理学会 事務局 (jsp-admin@umin.ac.jp)